

令和5年4月12日

保護者様

南丹市立園部第二小学校
校長 坂瀬 一哉

地震発生時における学校の対応について

陽春の候 保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育の推進に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、近年大きな地震が全国各地で発生して甚大な被害が出ており、学校においても大地震の発生に対して十分な備えをしておく必要があります。

今後、南丹市で地震が発生した際には市教育委員会と相談の上、市内小中学校校長会の申し合わせにより、児童の安全確保を第一に考え、原則として下記のような措置をとらせていただきます。

ご家庭におかれましても、お子さんと連絡が取れないときの集合場所について確認するなど、普段から災害時の対応についてご準備いただきますようお願いいたします。

記

■登校前に地震が発生した場合

- 「震度4」以上の地震が南丹市で発生した場合、登校を見合わせ「自宅（または安全な場所）待機」とし、被害状況や通学路等の安全が確認できれば授業を行います。
- 「震度5弱」以上の場合は、原則「臨時休校」とします。
- 「自宅待機」となった場合は、その後の連絡があるまで、自宅もしくは安全な場所で待機してください。

■登下校中に地震が発生した場合

- 震度は不明でも大きな揺れや被害が発生した場合、揺れが落ち着いたら近くの安全な場所に一時的に避難し、「学校」か「自宅」のいずれか、より近く、より安全と思われる方に避難します。
- バスに乗車中の時は、ドライバーの指示に従い、自ら安全を確保する行動をします。

■学校で地震が発生した場合

- 教職員の指示により、安全な場所に避難し待機させます。その後、校内の安全が確認できれば授業を行います。
- 「震度5弱」以上かつ教育活動の継続が困難と判断される場合は、できるだけ速やかに児童の引き取りをお願いします。
- 「震度4」以下の場合でも、児童の安全を第一に考え、被害の状況によって授業を中止し、保護者による引き取り等をお願いすることがあります。

■その他

- 「児童の引き渡し」等、特別な対応を行っている間は、学校への電話がつながりにくい状況が想定されます。ご了承ください。
- 自宅待機後の連絡は、保護者連携ツール「tetoru」を使って連絡します。しかし、停電等により学校からの連絡が困難な場合も想定されます。連絡ができない場合は「臨時休校」とします。